



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年7月29日

上場会社名 株式会社ミロク情報サービス 上場取引所 東
 コード番号 9928 URL http://www.mjs.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 是枝 周樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 滝本 訓夫 (TEL) 03 (5361) 6369
 経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,709	6.4	387	-	379	-	189	-
23年3月期第1四半期	4,425	△3.8	26	△72.5	20	△76.8	2	-

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 172百万円 (-%) 23年3月期第1四半期 △13百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	6	17	5	97
23年3月期第1四半期	0	08	0	08

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	
24年3月期第1四半期	14,738	7,704	7,704	7,704	52.3	
23年3月期	14,993	7,899	7,899	7,899	52.7	

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 7,704百万円 23年3月期 7,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
23年3月期	-	-	0	00	-	-	12	00	12	00
24年3月期	-	-								
24年3月期(予想)			0	00	-	-	12	00	12	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	9,472	3.0	597	35.6	583	32.9	296	30.3	9	64
通期	19,300	2.9	1,650	9.5	1,600	7.5	832	17.9	27	09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24年3月期1Q	34,783,286株	23年3月期	34,725,286株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	4,133,125株	23年3月期	4,133,125株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	24年3月期1Q	30,645,699株	23年3月期1Q	31,083,259株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響により、生産や輸出が大幅に減少するなど総じて厳しい状況となりました。また、原子力発電所の事故に伴う電力供給の制約が及ぼす企業活動への影響や食品・健康への不安が与える個人消費への影響が懸念されるなど、景気の先行きは極めて不透明なまま推移しております。

ソフトウェア業界及び情報サービス業界におきましても、景況感の悪化からIT関連投資をはじめ設備投資に対する企業の慎重な姿勢が強まり、依然として厳しい状況が続いております。

このような経営環境の下、MJSグループは第2次中期経営計画（平成24年3月期～平成26年3月期）の経営ビジョンである「顧客基盤と安定収入の拡大に継続的に取り組むとともに、インターネット技術を利用した多様化するビジネスモデルをはじめ、さまざまな環境変化に柔軟に対応できる経営基盤の確立」の実現に向け、積極的な取り組みを開始しております。

本年4月には、会計事務所向けの新製品『ACELINK NX-Pro』を発売いたしました。これは会計事務所における“経営の最適化”を実現し、生産性の向上とより付加価値の高い顧問先サービスの創出を支援するERP（統合業務）システムです。4月より主要10都市にて「新製品『ACELINK NX-Pro』全国縦断発表会」を開催するなど、積極的なプロモーション活動及び販売活動を展開いたしました。

企業向けには、主力のERPシステム『Galileopt』及び『MJSLINK II』の機能拡張や外部システムとの連携強化を図り、併せてお客様へのソリューション提案力強化のための教育研修を継続的に行い、新規顧客の開拓に注力いたしました。

また、ハードウェア・ネットワーク保守サービスの自営化（自社でサービスを提供する）を推進し、より高品質なワンストップサービスを提供できる体制作りを進めてまいりました。

このような事業活動により、会計事務所及び企業マーケットにおける新規顧客、既存顧客への主力システムの売上高が大幅に伸長したため、当第1四半期連結累計期間における業績は増収増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高47億9百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益3億87百万円、経常利益3億79百万円、当期純利益1億89百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間の品目別の業績は以下の通りであります。

(システム導入契約売上高)

ハードウェア売上高は、前年同期比3.7%減少し5億10百万円、ソフトウェア売上高は、会計事務所向け新製品及び企業向けERPシステムの販売が好調に推移したため、前年同期比18.2%増の20億2百万円となりました。ユースウェア売上高は、前年同期比1.4%増加し5億47百万円となりました。

この結果、システム導入契約売上高の合計は、前年同期比10.7%増加し30億60百万円となりました。

※「システム導入契約売上高」は、システム導入契約時の売上高の合計として、ハードウェア、ソフトウェア、ユースウェア（システム導入支援サービス等）の売上高から構成されております。

(サービス安定収入)

会計事務所向けの総合保守サービスであるTVS（トータル・バリューサービス）収入は、前年同期比2.7%増加し4億74百万円となりました。ソフト使用料収入は、会計事務所の顧問先企業向けの低価格な会計ソフト使用料売上が伸張し、前年同期比5.6%増の92百万円となりました。企業向けのソフトウェア運用支援サービス収入は、契約企業数が増加したため、前年同期比3.8%増の6億54百万円となりました。ハードウェア・ネットワーク保守サービス収入は前年同期比0.2%減少し2億77百万円、サプライ・オフィス用品売上高は、前年同期比13.7%減少し1億40百万円となりました。

この結果、サービス安定収入の合計は、前年同期比1.1%増加し16億40百万円となりました。

※「サービス安定収入」は、主に継続的な役務の対価となる安定的な収入として、ソフト保守やハード・ネットワーク保守、ソフト使用料収入、サプライ・オフィス用品等の売上高から構成されております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億55百万円減少して147億38百万円となりました。

主な要因は、流動資産では、現金及び預金が4億41百万円減少、受取手形及び売掛金が1億57百万円増加、有価証券が1億円増加しております。固定資産では、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定が79百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ60百万円減少して70億34百万円になりました。主な要因は、未払金が5億8百万円増加、賞与引当金が2億86万円減少、社債が30百万円減少、長・短借入金が1億41百万円減少したことによるものであります。

純資産は、1億94百万円減少して77億4百万円となりました。また、自己資本比率は52.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月12日の決算短信で公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,129,641	2,688,529
受取手形及び売掛金	3,221,842	3,379,803
有価証券	—	100,000
商品	192,977	158,879
仕掛品	49,857	54,107
貯蔵品	21,103	25,593
その他	757,692	777,277
貸倒引当金	△45,355	△37,670
流動資産合計	7,327,760	7,146,519
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,729,912	2,729,912
その他(純額)	1,308,294	1,310,703
有形固定資産合計	4,038,207	4,040,615
無形固定資産		
ソフトウェア	1,107,156	1,659,628
ソフトウェア仮勘定	670,668	38,622
その他	31,685	26,193
無形固定資産合計	1,809,510	1,724,444
投資その他の資産		
その他	1,844,662	1,853,626
貸倒引当金	△26,377	△26,755
投資その他の資産合計	1,818,285	1,826,870
固定資産合計	7,666,003	7,591,931
資産合計	14,993,763	14,738,451
負債の部		
流動負債		
買掛金	604,456	557,157
短期借入金	1,100,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	458,060	392,890
1年内償還予定の社債	244,000	244,000
未払法人税等	425,734	195,837
賞与引当金	420,833	134,393
その他の引当金	50,685	22,886
その他	1,675,220	2,395,582
流動負債合計	4,978,990	5,042,746
固定負債		
社債	662,000	632,000
長期借入金	1,289,725	1,213,300
引当金	20,750	21,799
資産除去債務	16,548	16,643
その他	126,510	107,640
固定負債合計	2,115,534	1,991,384
負債合計	7,094,525	7,034,130

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,198,299	3,198,357
資本剰余金	3,013,389	3,013,389
利益剰余金	2,958,590	2,780,519
自己株式	△1,164,547	△1,164,547
株主資本合計	8,005,732	7,827,718
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△77,854	△97,474
繰延ヘッジ損益	△28,639	△25,923
その他の包括利益累計額合計	△106,493	△123,398
純資産合計	7,899,238	7,704,320
負債純資産合計	14,993,763	14,738,451

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	4,425,085	4,709,741
売上原価	1,656,956	1,624,071
売上総利益	2,768,128	3,085,669
返品調整引当金戻入額	11,249	20,685
返品調整引当金繰入額	14,133	22,886
差引売上総利益	2,765,244	3,083,469
販売費及び一般管理費	2,738,833	2,695,942
営業利益	26,410	387,526
営業外収益		
受取利息	1,098	773
受取配当金	2,393	4,484
助成金収入	8,156	3,187
その他	3,354	2,730
営業外収益合計	15,002	11,175
営業外費用		
支払利息	19,495	18,339
その他	1,126	808
営業外費用合計	20,621	19,148
経常利益	20,791	379,553
特別利益		
投資有価証券売却益	20,728	677
株式割当益	14,844	—
特別利益合計	35,572	677
特別損失		
固定資産除却損	3,267	656
減損損失	72	291
投資有価証券評価損	—	631
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	20,814	—
その他	3,200	200
特別損失合計	27,355	1,779
税金等調整前四半期純利益	29,008	378,450
法人税等	26,474	189,416
少数株主損益調整前四半期純利益	2,534	189,034
四半期純利益	2,534	189,034

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,534	189,034
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,912	△19,620
繰延ヘッジ損益	1,545	2,715
その他の包括利益合計	△16,366	△16,904
四半期包括利益	△13,831	172,129
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,831	172,129
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。